

GCS療法を受けられる患者様へ

GCS療法について

GCS療法は、ゲムシタピン(G)、シスプラチン(C)と、ティーエスワン(S)という3種類の抗がん剤を用いて行う治療です。それぞれ作用が違う抗がん剤を組み合わせる治療です。ゲムシタピンとシスプラチンは注射薬、ティーエスワンは飲み薬です。

投与スケジュール 今日 (/) は サイクル 日目

1日目にゲムシタピンとシスプラチンを投与します。
1日目の夕から8日目の朝(7日間)にティーエスワンを服用します。
14日間を一区切り(1コース)とします。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	1	2
注射薬																
経口薬・朝																
経口薬・夕																

ここに示したスケジュールは参考であり、患者さんの状態や副作用によって変更することがあります。

点滴で投与する薬について

生理食塩液
カリウム、マグネシウム

腎臓への障害を予防します。
60分かけて投与します。

デカドロン
グラニセトロン

吐き気止めのお薬です。
30分かけて投与します。

シスプラチン (mg)

抗がん剤です。
30分かけて投与します。

フロセミド
生理食塩液

利尿剤です。
腎臓への障害を予防します。
60分かけて投与します。

ゲムシタピン (mg)

抗がん剤です。
血管痛が起こることがあります。
30分かけて投与します。

生理食塩液

お薬を洗い流します。
5分かけて投与します。

副作用について

自覚できる副作用

アレルギー反応
急性嘔吐

熱感・かゆみ・動悸などの症状が現れたら、すぐにお伝えください。

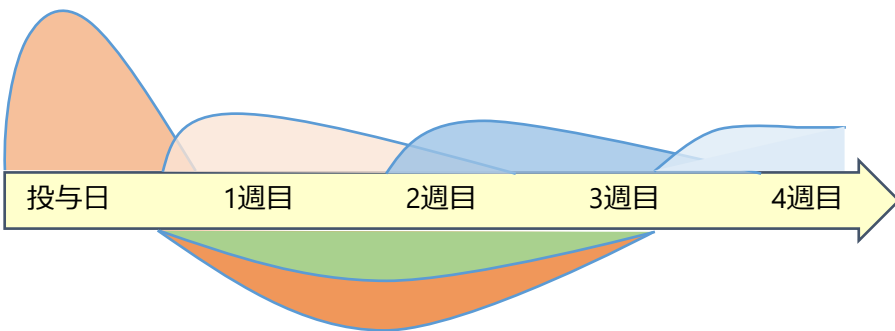
遅発性嘔吐
食欲不振
便秘 倦怠感

気持ちが悪い時には我慢せずに申し出てください。他にもお薬があります。

口内炎 下痢

口内炎・下痢・便秘にはお薬が有効です。遠慮せずに申し出てください。

味覚の変化



自覚できない副作用

肝障害 腎障害

白血球減少
血小板減少

感染予防のため、手洗いをしっかりこまめに行いましょう。38℃以上の発熱がある場合は病院に連絡をして下さい。

その他にも気になる症状がありましたら、お気軽に医療スタッフまでご相談ください。

内服薬について

1日目	2日目	3日目	4日目

吐き気止めのお薬です。吐き気が無くても服用してください。

日本医科大学武蔵小杉病院薬剤部

川崎市中原区小杉町1-383 ☎(044)733-5181